

月刊



はあむふるあたご

10月 第14号

＜発行＞平成 18 年 10 月 1 日

＜発行元＞〒951-8051 新潟市新島町通三の町 2284 番地

＜発行者＞ 木村 淳

株式会社 はあとふるあたご

電話 025(228)5000(代) FAX025(228)4000



「手芸」 白勢 嘉代様

デイサービスセンター城北町 お客様

目次

経営理念	2	伊東先生のコラム 第14回	11
事業所だより	2	ホットニュース	11
職員紹介	5	ふるさと散歩 第13回	12
シリーズ 私の自慢	8	編集後記	12



株式会社はあとふるあたご

<経営理念>

わたしたち はあとふるあたご は、
『“人”を一番大切にします』
これが、わたしたち はあとふるあたご の基本理念です。
すべての社員が
はあとふるあたご で働くことに幸せを感じます。
わたしたちが幸せに働けるのは、
私たちを必要としてくれるお客様がいらっしゃるからです。

事業所だより

デイサービスセンター柳都大橋

★草木染

先日レクリエーションの時間を使って「草木染」を行いました。今回は玉ねぎの皮、紅茶ティーパックを煮出す方法で染めてみました。

お客様ひとりひとりそれぞれの模様がうかびあがり、やさしい黄色だったり濃くはっきりとした黄色だったり



色も様々で一つ一つがとても素晴しかったです。また紅茶で染めた方もうすいきれいな茶色に染まり味のある色になりました。

この生地をつなげて一つのタペストリーにして、作品に仕上げたいと思っています。そして毎年10月に開催される、新潟大学の医学祭に出展する予定になっております。



★夏祭り

8月25日から8月27日の3日間「柳都夏祭り」を初めて開催いたしました。

かき氷とわたあめを作り、召し上がっていただいたり、景品付きの輪投げ大会をしたり、「佐渡おけさ」「新潟甚句」を皆さんと一緒に踊ったりして盛り上がりました。



ご利用日ではないお客様がわざわざ来てくださったり、ご近所の方々も遊びに来てくださったりと、とても楽しい3日間になりました。お祭りの準備は大変でしたが、お客様の笑顔がたくさん見ることができ職員一同うれしく思います。

来年もお客様がもっと喜んでくださるよう、今年以上に楽しい素敵な「柳都夏祭り」を開催したいと思います。

デイサービスセンター柳都大橋

小林 恵

電話 025-268-8880 FAX 025-268-8887

福祉用具事業部

今年の暑い夏も過ぎ、過ごしやすい季節になってきました。これから紅葉を楽しみたいと思う方が多いのではないのでしょうか。

そのような楽しい外出の第一歩を踏み出す為に、玄関の改修事例についてご案内させていただきます。

右の写真は玄関との上り框の間の段差に対して、その間に踏み台を設置することにより昇降動作の負担を軽減し、その横に手摺を取り付けることにより、下肢だけでなく上肢も使いながら、より安全に段差を越えることを目的にした例です。

高齢の方でなくても多くの人達が階段に手摺があると無意識のうちに手摺につかまり階段を昇り降りするそうです。玄関などの大きな段差があるところに手摺や踏み台の取り付けによって皆様方の良い外出の機会のお手伝いできれば私共もうれしく感じます。ぜひお気軽にご相談下さい。



壁面がないところでも取り付けられる、上り框用手摺

お問い合わせは	福祉用具事業部	柳都大橋	025-228-5002
		新 発 田	0254-23-1173
		上 越	025-531-0688

デイサービスセンター河渡本町

8月8日、9日とデイサービスセンター河渡本町夏祭りを開催致しました。ホール内は、この日の為にお客様に作成して頂いたちぎり絵やうちわ、ちょうちんなどで色鮮やかに飾りつけられました。

昼食を終えて、一休みしていただくと祭りのスタートです。ヨーヨー釣りに輪投げ、わたあめ、かき氷などの出し物にお客様も「懐かしいね」と昔を思い出されている様子でした。お祭りで一番の盛り上がりを見せたのがビンゴゲームです。お客様自身に数字を記入して頂いたカードを



自分のビンゴカードとして使用して頂きました。一つ数字が読み上げられるたびに聞こえてくるお客様の歓声やため息でデイサービスが盛り上がりました。見事最初にビンゴを達成されたお客様には記念のメダルと豪華！？賞品が送られました。その後も次々とビンゴのお客様が出て笑顔で賞品をお持ち帰りになられました。お客様の手をお借りして浴衣姿になった職員も、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。

デイサービスセンター河渡本町 米内山 寛規
電話 025-250-3001 FAX 025-250-3010

いつものヘルパーと！泊まれるデイサービス「デイホーム花らく里」^{からくり}

～24時間365日、「デイ、訪問介護、宿泊」でお客様の在宅生活をお支えいたします～

私共デイホーム花らく里では、お客様の指の運動にもなり、資源の有効活用にもなると思いチラシの鍋敷を作り始めました。

チラシを長方形に切り、折ってVの字の形のものをたくさん作り、それを組み合わせていきます。ある程度の長さになったら、蛇のとぐろの様にぐるぐると巻いていき、鍋が置ける大きさになるまで、チラシを組み合わせます。100個Vの字の形のものを作っても足りず、いったい何枚折ればよいのでしょうか？とお客様と笑いながら作っております。

組み合わせ方も難しく、職員も時々わからなくなり、お客様も「ちょっと難しいわね」とお話をしながら、組み合わせておられました。

詳しい作り方を知りたい方はぜひ、花らく里までいらしてください。お待ちしております。

デイホーム花らく里・訪問介護ステーション学校町 齊藤 聡子

電話 025-226-6667 FAX 025-226-6669



訪問看護ステーション柳都大橋

「ものわすれ」についてのお話

40歳を越えた頃から「ど忘れがひどくなった」「人の名前がなかなか思い出せない」など感じてしまうのは、脳機能低下のあらわれです。

「物忘れ」には「健康な人の物忘れ」と「認知症による物忘れ」があります。「健康な人」の場合は「忘れた」ということが自覚できますが、「認知症」による場合は「自分が忘れていること自体を忘れてしまう」ことで自覚がありません。例えば「へそくりをどこに隠したか思い出せない」という「健康な人」の場合に対し、「へそくりを隠したこと自体を忘れてしまう」のが「認知症」の場合です。

ここ数年「物忘れ外来」なるものも増えているようですが、ちょっとした物忘れならあまり気にせず、「忘れても大したことじゃないから忘れてしまう」くらいに考えてはどうでしょう・・・。



ちなみに「ミョウガを食べると物忘れがひどくなる」といいますが、物忘れがひどかった昔のお坊さんのお墓から、ミョウガが生えてきたことから、そのような言い伝えになったらしいのです。むしろ、ミョウガの辛味成分が脳に刺激を与えるので記憶力が良くなるのだそうです。

訪問看護ステーション柳都大橋

羽生 幸子

電話 025-228-5004 FAX 025-228-4000

デイサービスセンター横越

★おやつ作り

デイサービスセンター横越では、レクリエーションの時間におやつ作りを行ないました。

今回はまず手始めとして、皆様とホットケーキを作りました。生地を混ぜ合わせ、焼き、ホットケーキを返して・・・。

男性のお客様は、料理はしたことがない！という方ばかりでしたがとても器用な手つきで取り組まれていらっしゃいました。女性のお客様はみなさん、「昔は子供や孫に焼いてやったけど、何年も前で忘れてしまったね」とおっしゃいながらも、慣れた手つきでお手伝い下さいました。

焼きあがったホットケーキにはシロップやジャム、生クリームなどそれぞれのお好みの味付けで召し上がっていただきました。これからもみなさんとたくさんものを作り取り組んでいきたいと思っています。



デイサービスセンター横越

成田 洋子

電話 025-383-2235 FAX 025-383-2236

職員紹介 No. 13

デイサービスセンター横越 山田 智美

こんにちは。

デイサービスセンター柳都大橋から、8月1日付けでデイサービスセンター横越へ異動をしてきました山田智美です。

新しい職場はとてものどかで、アットホームな感じでお客様をお迎えし、毎日楽しく過ごさせていただいています。

ドジでそそかしいところが多々あり、周りの皆さんに支えられている私ですが、お客様に楽しく、安心してご利用いただけるように、これからも努力していきたいと思っています。

どうぞよろしくお願い致します。



グループホーム五泉

グループホーム五泉では、8月29日（火）地元『巣本塾』の小学生の皆様がボランティアに来所され、よさこい踊りを披露して頂きました。

子供たちの元気な姿を見ると、こちらまで元気になります。

小学1年～5年生までの子供達が上手に、とてもかわいく踊る姿を見て、お孫さんを思い出されて涙ぐまれている方もおられました。

職員の飛び入り参加でお客様も大笑いされて、

「何年生?」「上手だね。」など子供たちとの楽しいひと時を過ごされました。

今後も、地元の方々との交流を深め、地域の中での活動を広げていきたいと思っています。

ボランティアも大歓迎です。ご希望の方はホームまでお問い合わせ下さい。

グループホーム五泉

斉藤 久美子

電話 0250-41-1610 FAX 0250-41-1611



「居宅介護支援センター」

★『サービス担当者会議』って？

お客様を中心に、在宅生活に関わっているスタッフが集まって、希望どおりに暮らしていただくために開く会議です。介護保険では、サービス利用開始時や見直しの時期に開催するよう決められています。

サービス提供事業者（デイサービス・訪問介護・訪問看護・ショートステイ・福祉用具・介護保険外サービスなど）や主治医など関わっているスタッフをひとつのチームとすると、私たちはチームで支援しています。そのチームメンバーとご本人・ご家族が同じ目標に向かって、役割を確認し情報を共有していくための「チームの作戦会議」といったほうがいいでしょうか。

皆様からこの「サービス担当者会議」に参加いただき、チームワークよく在宅生活を元気に楽しく、より充実したものにしていきたいと思っています。



居宅介護支援センター城北町

横尾 多美子

電話 0254-21-3331 FAX 0254-21-3335

デイサービスセンター松浜

デイサービスセンター松浜では、8月19日（土）～21日（月）の3日間、「納涼祭」を開催致しました。

色とりどりの提灯や揃いの法被、民謡の音色に、皆様口々に「良い雰囲気だねえ」「わくわくするねえ」と、まるで子供の頃に戻られた様な素敵な笑顔を見せて下さいました。また、「かき氷」や「綿菓子」、「蒸気パン」を召し上がると、一様に「懐かしいねえ」「おいしいねえ」と、とても喜んで下さいました。

クライマックスの「盆踊り」では、職員とお客様が輪になって、新潟甚句や佐渡おけさを踊り、楽しくにぎやかな夏の一時となりました。



デイサービスセンター松浜

佐藤 力

電話 025-255-7701 FAX 025-225-7705

いつものデスタッフと！！泊まれるデイサービス デイサービスセンターさかえ

8月27日デイサービスセンターさかえで事業所開設以来、初の夏祭りを開催いたしました。



お客様は勿論の事、ご家族様、ご近所様にも多数お越しいただきました。

この祭りで一番の盛り上がりを見せたのは、地元旧栄地区で活動している、栄凜會の皆様の活気あふれるよさこいソーランでした。大人と子供合わせて総勢20名から成す力のかぎりの踊りを目の当たりにして、ご覧になっていたお客様は感動されていました。

その他、出店として綿飴やかき氷、皆様から寄付を募ったフリーマーケットなどを行いました。お客様からは「楽しかったよ。また来年も頼むよ。」との声が聞け、大成功に幕を閉じました。

今後もデイサービスセンターさかえではご家族様やご近所様との交流を深められるような企画を考えて行きます。

デイサービスセンターさかえ

阿部 誠弘

電話 0256-45-7735 FAX 0256-45-7739

デイサービスセンター城北町

私どものセンターのある新発田市では、8月27日から3日間盛大な夏祭りが開かれます。

そこで、当センターのお客様に、一足早くお祭り気分を体感して頂きたく、8月26日に毎年新発田祭りに参加されている米倉太鼓保存会（米倉地区の小学生から社会人で構成）の皆様に来所していただきました。

聞きなれた豪快な太鼓の音が響き渡ると、お客様のうちわを持つ手や足が自然に拍子を取られ、今にでも踊りだされるかのように楽しんでいらっしゃいました。

太鼓の迫力ある音と、竹で造られた米倉太鼓の和みの音の共演はとても素晴らしく、お客様への「夏のプレゼント」となりました。

近隣の方も、太鼓の演奏に足を運んでくださり、喜んでいただきました。今後も、お客様や地域の皆様に喜んで頂けるイベントを提供して参ります。

デイサービスセンター城北町

小泉 美咲

電話 0254-21-3330 FAX 0254-21-3335



シリーズ 「私の自慢」 No. 14

「裁縫」

デイサービスセンター城北町 お客様 白勢 嘉代様



デイサービスセンター城北町のお客様、白勢嘉代様をご紹介します。

白勢様は、36歳の時にリウマチで体調を崩され、長い時間を横になって過ごされたそうですが、リハビリと趣味を兼ねて、裁縫を始めたとお聞きました。

白勢様が当センターにいらしてから、裁縫を楽しまれるお客様が増えました。白勢様は、常に新しいものに興味を持たれ、すぐに習得され、素晴らしい作品を

作り上げられています。

表紙を飾ったかわいらしい「ミニ浴衣」は、職員が幼いころ着ていた浴衣の生地を持ってきたところ、思い出の品にと作ってくださったものです。温かみのある作品は、センターの所々に飾らせていただいております。白勢様の作品は、センターを温かい憩いの場としてくださいます。

職員や他のお客様も、これからの白勢様の新しい作品を楽しみにしております。

デイサービスセンター城北町

小泉 美咲

通いなれたデイサービスで、気心知れたスタッフと！！住める！泊まれる！！

デイサービスセンター水原・ショーステイ水原

8月25日（金）、水原祭りの一大イベントでもあります、瓢湖大花火大会が行われました。私共デイサービス、ショーステイ水原では3階を開放し、普段御利用されているお客様とご家族様をお招きし、花火観賞を開催いたしました。

3階のテラスから、ちょうど真正面に花火があがり、お客様のとびっきりの笑顔を拝見することができました。花火を見ながら、やきとりや枝豆を召し上がり、1時間ほどの花火観賞を楽しめました。お客様やご家族様から、「来年もお願いします。」とのお言葉を頂き、大成功に終わりました。



デイサービスセンター水原・ショーステイ水原 肥田野 由香里

電話 0250-62-8888(デイ)

0250-62-8886(ショート)

FAX 0250-62-8887(デイ・ショート共通)

グループホーム三条

8月11日（金） 私共は「納涼花火大会」を開催いたしました。

台所で25人前のカレーライスを担当するお客様達は「ご飯これくらいかしら？」「多すぎないかしら」と賑やかに作ってらっしゃいました。



準備ができたなら皆様外で夕食を召し上がりました。

外で食べる夕食もヨーヨー釣りも好評で、「三条音頭」も踊られて、皆様終始ニコニコされていらっしゃいました。

いよいよクライマックスの花火大会では、一発景気付けにと火をつけたら、それは打ち上げ花火で・・・。「バンバン」と大きな音に皆様びっくりされてしまいましたが、それも落ち着くと色とりどりの花火を楽しんでいただけました。

グループホーム三条

田巻 なつみ

電話 0256-36-5555 FAX 0256-36-5556

グループホーム新津

今年の夏の暑さは、本当に厳しいものがありました。

日中の散歩は、日差しが強すぎて難しいので、グループホーム新津では、朝の少し涼しい時間を見計らい、ホームの玄関前でお客さんと、くつろぎの時間を持ったりしています。

外の空気に触れながら唱歌や童謡を歌ったり、井戸端会議に花を咲かせたりと、お客様だけではなく私共も楽しい時間を



過ごさせていただいています。

昔の楽しかった話、苦労した話、旅行の思い出、子供さんの話、等々話は尽きません。時には冗談を言って笑い合い、グループホーム新津のお客様18名、毎日元気に過ごしていらっしゃいます。



グループホーム新津

木根 渕 幸子

電話 0250-21-2888 FAX 0250-21-2889

デイサービスセンター坂井東

今回は、私どものセンターで定着している「マージャンレクリエーション」をご紹介します。

これは午睡されないお客様に、昼食後の静養の時間を有効に活用していただくもので、午後1時から2時までの1時間程度、マージャンを行う事です。

メンバーが足りないときには、ご近所のボランティアさんをお願いしています。もちろん賭け事は無し。時間制です。

「マージャンのリハビリ効果」も唱え始められているようですが、①実際手先、指先の運動になること、②考える事で頭の体操になること、そして何より③デイサービスへ行く日が楽しくなるそうです。

今日も、「リーチ・・アタリ・・タンピンドラドラ。マンガン ついてるねー」楽しい笑い声が聞こえます。

★マージャンボランティアさん募集

お客様とマージャンを楽しんで頂ける方、マージャンだけでなく将棋・囲碁をされる方。

上記ボランティアさんを募集しています。興味のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。



デイサービスセンター坂井東

稲野 正晃

電話 025-268-8880 FAX 025-268-8887

伊東先生のコラム 第13回

丸山診療所所長 伊東浩志 先生

心肺蘇生の方法が著しく変わりました

医療関係者の皆さんは、ご存知ですよね。「心臓マッサージの10秒の中断は悪である。」心臓マッサージを10秒停止すると蘇生率は著しく低下します。以前は5回心臓マッサージ（ゆっくり・しっかり）して1回補助呼吸をした。今は、それをやったら「訴訟物」です。改善する人も改善しない。2005年のACLS（Advanced Cardiovascular Life Support）のガイドラインでは30回心臓マッサージ（強く・早く（push hard and push fast））を行い（100回／分）、2回補助呼吸する。補助呼吸も1秒で行う。

AED（自動体外式除細動器）を使用している時間さえも、本来なら中断したくないくらいです（もちろん19秒～37秒の中断となりますが）。除細動したら直ぐに心拍の確認をするのではなく2分間蘇生術を施行してからリズムチェックをします。

かつては除細動は3回連続して行くと習ったかもしれませんが、これをすれば蘇生率は著しく低下します。（一度の通電の後、二度目は生体の電気抵抗が低下して除細動が容易となるという考えから）

医療関係者の皆さん。「心臓マッサージの中断は悪」ですよ。。。。肝に銘じておきましょうね。

ホットニュース

居宅介護支援センター坂井東が開設しました

9月1日より「はあとふるあたご 居宅介護支援センター坂井東」を開設いたしました。地域のみなさま、よろしくお願いいたします。

近年、地域での人々のつながりがますます希薄になっている時代を迎えています。そんな中で、積極的に手を差しのべる姿勢やシステムの見直しも始まりました。

助けを必要としている人々は、私たちのすぐ近くで暮らしています。地域で暮らしています。そんな地域の方たちのお役に立ちたいと考えております。

私たちは、人々のプライバシーと上手につき合いながら、直接心にふれる支援をしていきたい。サービスと人との橋渡しを行い、そのサービスを使って、人々が自分の生活を改善したいと思ってくださるよう支援させていただきたいのです。

いつでも、お声かけください！！（デイサービスセンター坂井東内に事務所はあります）

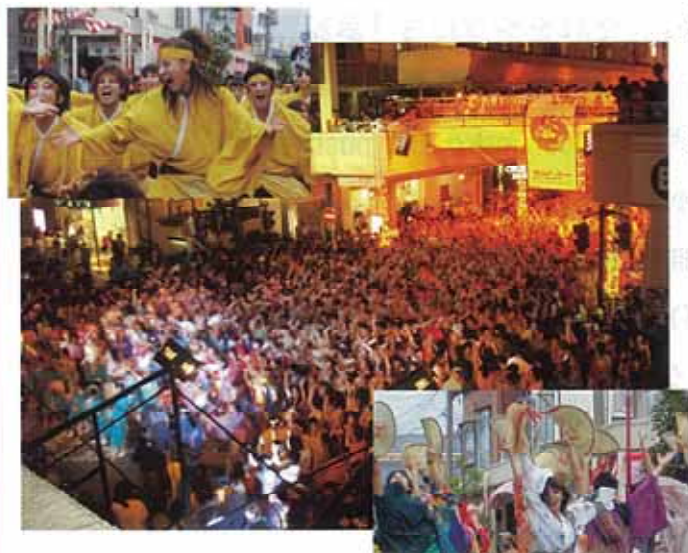
居宅介護支援センター坂井東 阿部 充子

ふるさと散歩 第13回

「にいがた総おどり」祭

毎年9月中旬、新潟市の万代シティや古町を中心に行われる新潟の新しいお祭り、今年で5回目となる「にいがた総おどり」祭をご紹介します。約30

0年前、新潟には貧困や災害に見舞われた庶民が五穀豊穡と無病息災を願い三日三晩踊り明かした祭りがあったそうです。祈り・願いを込めて行われた当時の祭りを現在に復活させ次の世代に



残したい、と立ち上げられたのが「にいがた総おどり」祭です。県内外から集まった200団体、約1万人の踊り子は、華やかな衣装を身にまとい、それぞれの地域の民謡をアレンジした音楽に合わせてジャンルにとらわれない個性豊かな踊りを披露します。観客・出演者が一緒になって踊る「総踊り」では踊り子の思い・エネルギーが一つになり感動的なフィナーレを迎えます。百聞は一見にしかず。ぜひ、ご体感下さい。

総務部 古野間 信介

必要としてくれる人がいるから... 自然と笑顔で働ける場所

はあとふるあたごでは、
一緒に働く仲間を募集しています。

募集中のお仕事

介護職員・生活相談員・看護師
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
経験者大歓迎です。

■応募先 希望職種を明記の上、ご応募ください

〒951-8051 新潟市新島町通3ノ町2284番地

(株)はあとふるあたご 採用係

在宅介護の総合サービス

♡♡♡ はあとふる あたご

<http://www.heartfull.jp/> TEL 025-228-5000

編集後記

秋の深まりを感じさせる今日この頃。皆様いかがお過ごしでしょうか。

この度デイサービスセンター坂井東内に居宅介護支援センターを新設いたしました。

これからもお客様のご要望に沿ったサービスを心がけてまいります。

是非、忌憚のないご意見、ご指摘、改善点等のご意見をお待ち申し上げております。

＜連絡先＞ デイサービスセンターさかえ

電話 0256(45)7735 FAX 0256(45)7739

＜編集委員＞

阿部誠弘(デイサービスセンターさかえ)

稲野正晃(デイサービスセンター坂井東)

古野間信介(総務部)

茅野 弘美(訪問看護ステーション柳都大橋)

阿部充子(居宅介護支援センター坂井東)

中山 卓(福祉用具センター新発田)

難波 淳(グループホーム三条)